

LM・ニュージーランド公社債ファンド (毎月分配型) 愛称：キウイ

運用報告書（全体版）

第66期 決算日 2019年12月16日

第67期 決算日 2020年1月15日

第68期 決算日 2020年2月17日

第69期 決算日 2020年3月16日

第70期 決算日 2020年4月15日

第71期 決算日 2020年5月15日

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年6月16日～2024年5月15日まで	
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	「LM・ニュージーランド公社債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ニュージーランド公社債マザーファンド	主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月15日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

当報告書に関するお問合わせ先：

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

お問合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「LM・ニュージーランド公社債ファンド（毎月分配型）」は、2020年5月15日に第71期の決算を行いましたので、第66期、第67期、第68期、第69期、第70期、第71期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

<http://www.leggmason.co.jp>

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落	中 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
42期(2017年12月15日)	8,865	30	1.3	95.5	—	3,849	
43期(2018年1月15日)	9,037	30	2.3	98.2	—	3,838	
44期(2018年2月15日)	8,803	30	△2.3	96.2	—	3,654	
45期(2018年3月15日)	8,662	30	△1.3	97.4	—	3,563	
46期(2018年4月16日)	8,812	30	2.1	96.9	—	3,555	
47期(2018年5月15日)	8,485	30	△3.4	97.8	—	3,393	
48期(2018年6月15日)	8,556	30	1.2	97.2	—	3,379	
49期(2018年7月17日)	8,515	30	△0.1	97.8	—	3,318	
50期(2018年8月15日)	8,209	30	△3.2	96.9	—	3,134	
51期(2018年9月18日)	8,237	30	0.7	95.1	—	3,106	
52期(2018年10月15日)	8,123	30	△1.0	96.1	—	3,115	
53期(2018年11月15日)	8,551	30	5.6	98.0	—	3,226	
54期(2018年12月17日)	8,575	30	0.6	96.9	—	3,112	
55期(2019年1月15日)	8,294	30	△2.9	96.7	—	2,995	
56期(2019年2月15日)	8,432	30	2.0	96.9	—	3,022	
57期(2019年3月15日)	8,597	30	2.3	97.2	—	3,032	
58期(2019年4月15日)	8,511	30	△0.7	96.8	—	2,910	
59期(2019年5月15日)	8,142	30	△4.0	97.2	—	2,653	
60期(2019年6月17日)	8,031	30	△1.0	97.6	—	2,562	
61期(2019年7月16日)	8,233	30	2.9	96.7	—	2,605	
62期(2019年8月15日)	7,915	30	△3.5	96.9	—	2,483	
63期(2019年9月17日)	7,856	30	△0.4	97.7	—	2,437	
64期(2019年10月15日)	7,855	15	0.2	97.0	—	2,395	
65期(2019年11月15日)	7,875	15	0.4	98.3	—	2,333	
66期(2019年12月16日)	8,101	15	3.1	98.8	—	2,355	
67期(2020年1月15日)	8,173	15	1.1	95.9	—	2,326	
68期(2020年2月17日)	7,976	15	△2.2	96.5	—	2,237	
69期(2020年3月16日)	7,305	15	△8.2	97.2	—	2,000	
70期(2020年4月15日)	7,451	15	2.2	96.9	—	2,028	
71期(2020年5月15日)	7,564	15	1.7	98.7	—	2,047	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第66期	(期 首) 2019年11月15日	円		%	%	%	—
	11月末	7,875	—	—	98.3	—	—
	(期 末) 2019年12月16日	8,008	1.7	—	98.4	—	—
第67期	(期 首) 2019年12月16日	8,116	3.1	—	98.8	—	—
	12月末	8,101	—	—	98.8	—	—
	(期 末) 2020年1月15日	8,234	1.6	—	97.6	—	—
第68期	(期 首) 2020年1月15日	8,188	1.1	—	95.9	—	—
	1月末	8,173	—	—	95.9	—	—
	(期 末) 2020年2月17日	8,038	△1.7	—	96.3	—	—
第69期	(期 首) 2020年2月17日	7,991	△2.2	—	96.5	—	—
	2月末	7,976	—	—	96.5	—	—
	(期 末) 2020年3月16日	7,889	△1.1	—	96.4	—	—
第70期	(期 首) 2020年3月16日	7,320	△8.2	—	97.2	—	—
	3月末	7,305	—	—	97.2	—	—
	(期 末) 2020年4月15日	7,304	△0.0	—	97.9	—	—
第71期	(期 首) 2020年4月15日	7,466	2.2	—	96.9	—	—
	4月末	7,451	—	—	96.9	—	—
	(期 末) 2020年5月15日	7,566	1.5	—	98.4	—	—
		7,579	1.7	—	98.7	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

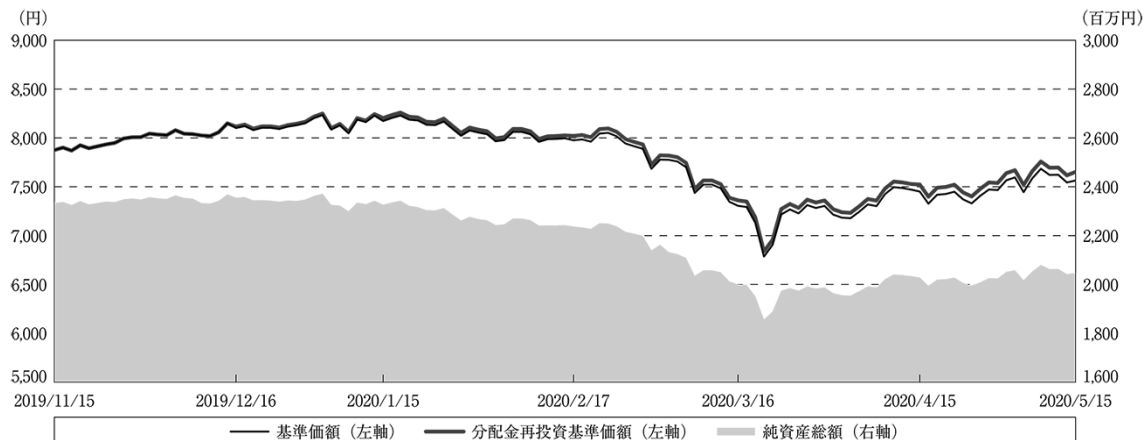
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年11月16日～2020年5月15日)



第66期首：7,875円

第71期末：7,564円 (既払分配金(税込み):90円)

騰落率：△ 2.8% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年11月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はマイナス(分配金再投資ベース)となりました。公社債利金を手堅く確保したことに加え、公社債損益についても、債券利回りの低下(価格は上昇)を受けてプラスとなりました。しかし、為替相場がニュージーランドドル(NZドル)安・円高となったことから、為替損益がマイナスとなり、基準価額を押し下げました。

当作成期のニュージーランド債券市場は、利回りが低下しました。期の前半は、米中が貿易協議の「第1段階」で合意し、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、利回りは上昇（価格は下落）しました。しかし、その後、中東情勢が緊迫化すると懸念が広がり、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、利回りは低下しました。期の半ばは、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済への影響が懸念されたことから、利回りは低下しました。その後も、新型コロナウイルスの感染地域が一段と広がり、世界景気の下振れ懸念が強まったことから、株式相場が急落する中、利回りの低下が進みました。期の後半は、新型コロナウイルス感染拡大の影響に配慮し、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）が0.75%の緊急利下げを決定しました。金融市場の混乱が増す中、投資家による現金確保のための債券売りなどから、利回りは一時急上昇する場面も見られました。しかしその後は、世界的な経済活動の停滞が長期化する可能性が意識されたことや、RBNZが量的緩和策を拡充したことなどから、利回りは低下基調となりました。

社債セクターは、堅調な展開となりました。RBNZによる追加利下げや量的緩和策の拡充などが、社債市場を下支えしました。

当作成期のNZドル・円相場は、NZドル安・円高となりました。期の前半は、米中が貿易協議の「第1段階」で合意し、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、NZドル買い・円売りが優勢となりました。期の半ばは、中国で発生した新型コロナウイルスの感染地域が広がり、世界景気の下振れ懸念が強まったことから、NZドル売り・円買いが急速に強まりました。期の後半は、RBNZが0.75%の緊急利下げを決定したことや、金融市場の混乱が増す中、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、NZドル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後は、経済活動の再開に向けた動きが徐々に広がる中、投資家の過度なリスク回避姿勢が和らぎ、NZドルは対円で落ち着きを取り戻しました。

ニュージーランド5年国債利回りの推移



ニュージーランドドル／円レートの推移



当ファンドは、「LM・ニュージーランド公社債マザーファンド」を通じて、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当作成期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

分配金

(2019年11月16日～2020年5月15日)

当作成期の分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月15日	2020年4月16日～ 2020年5月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.185%	15 0.183%	15 0.188%	15 0.205%	15 0.201%	15 0.198%
当期の収益	15	15	15	12	15	15
当期の収益以外	—	—	—	2	—	—
翌期繰越分配対象額	335	342	343	340	345	350

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年11月16日～2020年5月15日)

項 目	第66期～第71期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 56	% 0.711	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(27)	(0.345)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(27)	(0.345)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	4	0.056	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.031)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.009)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 等 費 用)	(1)	(0.016)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に 係る費用
合 計	60	0.767	
作成期間の平均基準価額は、7,839円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

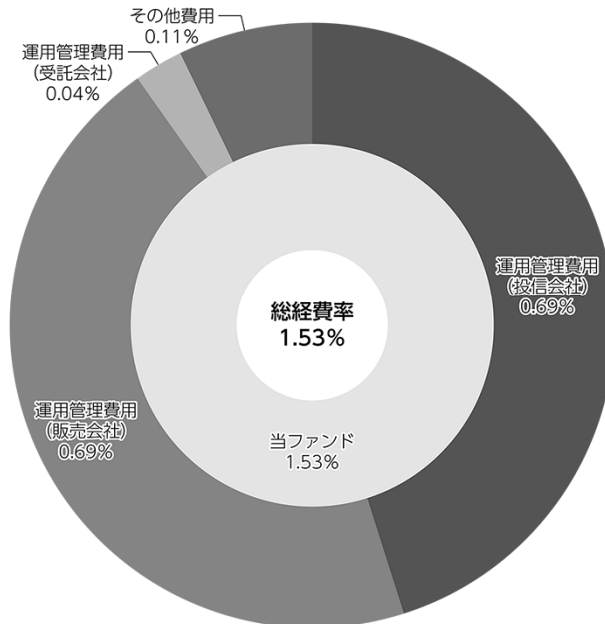
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.53%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年11月16日～2020年5月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第66期～第71期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
LM・ニュージーランド公社債マザーファンド		14,336	15,277	239,560	259,885

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年11月16日～2020年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2019年11月16日～2020年5月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年11月16日～2020年5月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2020年5月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第65期末	第71期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
LM・ニュージーランド公社債マザーファンド		2,175,074	1,949,851	2,054,168

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2020年5月15日現在)

項 目	第71期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
LM・ニュージーランド公社債マザーファンド	2,054,168	100.0
投資信託財産総額	2,054,168	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) LM・ニュージーランド公社債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(2,045,260千円)の投資信託財産総額(2,054,166千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月15日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=64.55円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第66期末	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末
	2019年12月16日現在	2020年1月15日現在	2020年2月17日現在	2020年3月16日現在	2020年4月15日現在	2020年5月15日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	2,362,790,436	2,338,705,083	2,244,697,412	2,007,775,836	2,035,312,939	2,054,168,362
LM・ニュージーランド公社債マザーファンド(評価額)	2,362,440,436	2,333,764,052	2,244,697,412	2,007,011,344	2,035,312,939	2,054,168,362
未収入金	350,000	4,941,031	—	764,492	—	—
(B) 負債	7,651,781	12,059,533	7,252,903	7,312,937	6,483,997	6,535,696
未払収益分配金	4,361,088	4,270,310	4,207,872	4,107,479	4,084,095	4,060,516
未払解約金	350,000	4,941,031	—	764,492	—	—
未払信託報酬	2,840,834	2,751,994	2,941,000	2,357,163	2,315,579	2,392,439
その他未払費用	99,859	96,198	104,031	83,803	84,323	82,741
(C) 純資産総額(A-B)	2,355,138,655	2,326,645,550	2,237,444,509	2,000,462,899	2,028,828,942	2,047,632,666
元本	2,907,392,526	2,846,873,436	2,805,248,060	2,738,319,528	2,722,730,274	2,707,010,808
次期繰越損益金	△ 552,253,871	△ 520,227,886	△ 567,803,551	△ 737,856,629	△ 693,901,332	△ 659,378,142
(D) 受益権総口数	2,907,392,526口	2,846,873,436口	2,805,248,060口	2,738,319,528口	2,722,730,274口	2,707,010,808口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,101円	8,173円	7,976円	7,305円	7,451円	7,564円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額 2,962,928,175円

当作成期中追加設定元本額 19,761,529円

当作成期中一部解約元本額 275,678,896円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は659,378,142円であります。

○損益の状況

項 目	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	2019年11月16日～ 2019年12月16日	2019年12月17日～ 2020年1月15日	2020年1月16日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月16日	2020年3月17日～ 2020年4月15日	2020年4月16日～ 2020年5月15日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	72,981,083	27,645,425	△ 47,918,784	△176,896,650	46,243,360	37,050,340
売買益	73,985,798	28,622,018	358,939	1,154,154	47,529,608	37,779,821
売買損	△ 1,004,715	△ 976,593	△ 48,277,723	△178,050,804	△ 1,286,248	△ 729,481
(B) 信託報酬等	△ 2,940,693	△ 2,848,192	△ 3,045,031	△ 2,440,966	△ 2,399,902	△ 2,475,180
(C) 当期損益金(A+B)	70,040,390	24,797,233	△ 50,963,815	△179,337,616	43,843,458	34,575,160
(D) 前期繰越損益金	△566,123,735	△489,631,307	△461,814,496	△503,639,632	△682,217,503	△638,145,775
(E) 追加信託差損益金	△ 51,809,438	△ 51,123,502	△ 50,817,368	△ 50,771,902	△ 51,443,192	△ 51,747,011
(配当等相当額)	(93,662,536)	(91,719,381)	(90,386,471)	(88,244,870)	(87,755,504)	(87,258,782)
(売買損益相当額)	(△145,471,974)	(△142,842,883)	(△141,203,839)	(△139,016,772)	(△139,198,696)	(△139,005,793)
(F) 計(C+D+E)	△547,892,783	△515,957,576	△563,595,679	△733,749,150	△689,817,237	△655,317,626
(G) 収益分配金	△ 4,361,088	△ 4,270,310	△ 4,207,872	△ 4,107,479	△ 4,084,095	△ 4,060,516
次期繰越損益金(F+G)	△552,253,871	△520,227,886	△567,803,551	△737,856,629	△693,901,332	△659,378,142
追加信託差損益金	△ 51,809,438	△ 51,123,502	△ 50,817,368	△ 50,771,902	△ 51,443,192	△ 51,747,011
(配当等相当額)	(93,665,996)	(91,722,160)	(90,389,880)	(88,251,039)	(87,759,545)	(87,261,543)
(売買損益相当額)	(△145,475,434)	(△142,845,662)	(△141,207,248)	(△139,022,941)	(△139,202,737)	(△139,008,554)
分配準備積立金	3,935,901	5,895,175	5,888,121	4,944,272	6,288,011	7,529,657
繰越損益金	△504,380,334	△474,999,559	△522,874,304	△692,028,999	△648,746,151	△615,160,788

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の50相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	7,146,838	6,314,628	4,292,429	3,315,639	5,462,858	5,344,369
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	93,665,996	91,722,160	90,389,880	88,251,039	87,759,545	87,261,543
(D) 分配準備積立金	1,150,151	3,850,857	5,803,564	5,736,112	4,909,248	6,245,804
分配対象収益額(A+B+C+D)	101,962,985	101,887,645	100,485,873	97,302,790	98,131,651	98,851,716
(1万口当たり収益分配対象額)	(350)	(357)	(358)	(355)	(360)	(365)
収 益 分 配 金	4,361,088	4,270,310	4,207,872	4,107,479	4,084,095	4,060,516
(1万口当たり収益分配金)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)

○分配金のお知らせ

	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期
1万円当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

LM・ニュージーランド公社債マザーファンド

運用状況のご報告

第6期 決算日 2020年5月15日

(計算期間：2019年5月16日～2020年5月15日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「LM・ニュージーランド公社債マザーファンド」の第6期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限
運 用 方 針	1. 主にニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行います。 2. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主 要 運 用 対 象	ニュージーランド・ドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行います。
組 入 制 限	1. 株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 2. 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	騰落率			
2期(2016年5月16日)	9,664	△10.9	97.1	—	百万円 6,109
3期(2017年5月15日)	10,507	8.7	96.1	—	4,801
4期(2018年5月15日)	10,667	1.5	97.4	—	3,409
5期(2019年5月15日)	10,840	1.6	96.7	—	2,666
6期(2020年5月15日)	10,535	△2.8	98.4	—	2,054

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債券先物比率
	円	騰落率		
(期首) 2019年5月15日	10,840	—	96.7	—
5月末	10,746	△0.9	97.7	—
6月末	11,025	1.7	97.9	—
7月末	11,041	1.9	96.5	—
8月末	10,539	△2.8	97.1	—
9月末	10,627	△2.0	97.9	—
10月末	10,887	0.4	95.1	—
11月末	10,950	1.0	98.4	—
12月末	11,293	4.2	97.5	—
2020年1月末	11,059	2.0	96.3	—
2月末	10,887	0.4	96.3	—
3月末	10,114	△6.7	97.8	—
4月末	10,510	△3.0	98.4	—
(期末) 2020年5月15日	10,535	△2.8	98.4	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。



○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナスとなりました。公社債利金を手堅く確保したことに加え、公社債損益についても、債券利回りの低下（価格は上昇）を受けてプラスとなりました。しかし、為替相場がニュージーランドドル（NZドル）安・円高となったことから、為替損益がマイナスとなり、基準価額を押し下げました。

当期のニュージーランド債券市場は、利回りが低下しました。期の前半は、米中貿易摩擦の激化懸念を背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから、利回りは低下しました。さらに、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）が市場予想を上回る0.5%の追加利下げを決定したことを受け、利回りは低下しました。期の半ばは、米中が貿易協定の「第1段階」で合意し、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから、利回りは上昇（価格は下落）基調で推移しました。しかしその後、中東情勢が緊迫化するとの懸念が広がり、リスク回避の動きが強まると、利回りは低下しました。期の後半は、中国で発生した新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済への影響が懸念されたことから、利回りは低下しました。一時、金融市場の混乱が増す中、投資家による現金確保のための債券売りなどから、利回りが急上昇する場面も見られました。しかし、RBNZが0.75%の緊急利下げを決定し、その後も量的緩和策を拡充したことなどから、利回りの低下が進みました。

社債セクターは、堅調な展開となりました。RBNZによる追加利下げや量的緩和策の拡充などが、社債市場を下支えしました。

当期のNZドル・円相場は、NZドル安・円高となりました。期の前半は、NZドルは底堅く始まりましたが、その後、RBNZが予想を上回る追加利下げを決定したことなどから、NZドル売り・円買いが優勢となりました。期の半ばは、米中が貿易協定の「第1段階」で合意したことなどをを受け、リスク回避姿勢が後退したことなどから、NZドルは対円で上昇基調となりました。期の後半は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、世界景気の下振れ懸念が強まったことから、NZドル売り・円買いが急速に強まりました。RBNZが金融緩和姿勢を強めたことや、金融市場

の混乱が増す中、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなども、NZドル売りを強めました。しかし当期末にかけては、経済活動の再開に向けた動きが徐々に広がり、投資家の過度なリスク回避姿勢が和らいだことから、NZドルは対円でやや値を戻しました。

ニュージーランド5年国債利回りの推移



ニュージーランドドル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行い、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。取得時において、原則として1社以上の格付機関から投資適格（BBB-/Baa3以上）の格付けが付与された、またはこれに相当する信用力をもつと運用者が判断する公社債に投資しております。当期の運用に当たっては慎重な方針で臨みました。資産配分については、金融債などの社債を厚めとしました。また、ポートフォリオ全体の平均格付けは引き続き高位に保ちました。

○今後の運用方針

当ファンドは、主としてNZドル建ての国債、州政府債、地方債、国際機関債、社債等を中心に投資を行うファンドです。引き続き、市場環境を注視しながら組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年5月16日～2020年5月15日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 7 (7)	% 0.061 (0.061)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	7	0.061	
期中の平均基準価額は、10,806円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年5月16日～2020年5月15日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル
外 国	ニュージーランド	国債証券	3,434 5,611
		地方債証券	702 1,539
		特殊債証券	— 752
		社債券（投資法人債券を含む）	4,812 3,104 (3,900)

(注) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月16日～2020年5月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2020年5月15日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円	%	%	%	%	%
ニュージーランド	27,400	31,319	2,021,671	98.4	—	47.3	32.5	18.6
合 計	27,400	31,319	2,021,671	98.4	—	47.3	32.5	18.6

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT	4.5	2,295	2,944	190,081	2027/4/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.0	2,050	2,489	160,698	2029/4/20	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	1.5	1,310	1,424	91,951	2031/5/15	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3.5	2,200	2,930	189,133	2033/4/14	
	NEW ZEALAND GOVERNMENT	2.75	1,870	2,370	153,036	2037/4/15	
地方債証券	AUCKLAND COUNCIL	5.806	690	823	53,179	2024/3/25	
	AUCKLAND COUNCIL	2.013	100	105	6,817	2025/7/10	
	CHRISTCHURCH CITY HLDGS	3.4	265	280	18,112	2022/12/6	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6.0	260	274	17,733	2021/5/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	5.5	960	1,102	71,167	2023/4/15	
	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	4.5	1,000	1,245	80,384	2027/4/15	
特殊債券 (除く金融債)	INTL BK RECON & DEVELOP	4.625	1,000	1,058	68,353	2021/10/6	
	LANDWIRTSCH. RENTENBANK	5.375	680	805	52,016	2024/4/23	
普通社債券 (含む投資法人債券)	ANZ BANK NEW ZEALAND LTD	3.03	500	538	34,760	2024/3/20	
	ASB BANK LIMITED	4.245	500	518	33,492	2021/5/26	
	ASB BANK LIMITED	1.83	500	516	33,364	2024/8/19	
	AUCKLAND INTL AIRPORT	5.52	550	572	36,983	2021/5/28	
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.97	420	452	29,177	2023/11/2	
	AUCKLAND INTL AIRPORT	3.51	100	107	6,919	2024/10/10	
	BANK OF NEW ZEALAND	3.856	500	534	34,486	2022/7/27	
	BANK OF NEW ZEALAND	3.648	500	547	35,322	2023/11/16	
	BK NEDERLANDSE GEMEENTEN	5.0	420	425	27,494	2020/9/16	
	BNP PARIBAS	5.375	1,000	1,011	65,316	2020/8/21	
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	4.005	500	536	34,645	2023/6/19	
	CHINA CONSTRUCT BANK NZ	2.393	150	154	9,961	2024/11/22	
	CONTACT ENERGY LTD	3.55	200	215	13,897	2024/8/15	
EXPORT-IMPORT BANK KOREA	4.0	300	315	20,334	2022/3/9		

銘柄		当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
ニュージーランド		%	千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル	千円		
	普通社債券 (含む投資法人債類)	FONTERRA COOPERATIVE GRO	4.33	500	522	33,723	2021/10/20
		FONTERRA COOPERATIVE GRO	5.9	700	756	48,805	2022/2/25
		GENESIS ENERGY LTD	5.809999	500	559	36,085	2023/3/8
		GMT BOND ISSUER LTD	4.0	500	532	34,389	2023/9/1
		HOUSING NEW ZEALAND LTD	3.36	200	226	14,642	2025/6/12
		HOUSING NEW ZEALAND LTD	2.183	200	213	13,808	2030/4/24
		KIWI PROPERTY GROUP LTD	4.33	300	318	20,557	2024/12/19
		MERIDIAN ENERGY LIMITED	4.21	300	335	21,687	2025/6/27
		RABOBANK NEDERLAND	2.75	300	317	20,524	2024/3/4
		SPARK FINANCE LTD	3.37	400	432	27,929	2024/3/7
		TOYOTA FIN NEW ZEALAND	3.17	500	529	34,151	2023/9/12
		TOYOTA FIN NEW ZEALAND	2.71	400	419	27,100	2024/4/23
		TRANSPOWER NEW ZEALAND L	1.735	590	606	39,180	2025/9/4
		VECTOR LTD	3.45	140	149	9,666	2025/5/27
		WESTPAC NEW ZEALAND LTD	3.795	450	463	29,936	2021/4/28
		WESTPAC NEW ZEALAND LTD	2.22	600	629	40,659	2024/7/29
合	計					2,021,671	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2020年5月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,021,671	98.4
コール・ローン等、その他	32,495	1.6
投資信託財産総額	2,054,166	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(2,045,260千円)の投資信託財産総額(2,054,166千円)に対する比率は99.6%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、5月15日における邦貨換算レートは、1ニュージーランドドル=64.55円です。

○特定資産の価格等の調査

(2019年5月16日～2020年5月15日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年5月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	2,054,166,621
コール・ローン等	17,842,845
公社債(評価額)	2,021,671,845
未収利息	13,744,998
前払費用	906,933
(B) 負債	21
未払利息	21
(C) 純資産総額(A-B)	2,054,166,600
元本	1,949,851,317
次期繰越損益金	104,315,283
(D) 受益権総口数	1,949,851,317口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,535円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額 2,460,368,728円

期中追加設定元本額 38,990,065円

期中一部解約元本額 549,507,476円

(注) 期末における元本の内訳

LM・ニュージーランド公社債ファンド(毎月分配型)

1,949,851,317円

○損益の状況 (2019年5月16日～2020年5月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	81,082,137
受取利息	81,061,005
その他収益金	33,889
支払利息	△ 12,757
(B) 有価証券売買損益	△140,007,823
売買益	105,596,754
売買損	△245,604,577
(C) 保管費用等	△ 1,441,636
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 60,367,322
(E) 前期繰越損益金	206,598,229
(F) 追加信託差損益金	2,993,412
(G) 解約差損益金	△ 44,909,036
(H) 計(D+E+F+G)	104,315,283
次期繰越損益金(H)	104,315,283

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。